

## 平成24年度 第1回厚生労働科学研究費 班会議

平成24年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）

「小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成」

日時：平成23年7月16日（月・祝） 11時00分 - 15時30分

（全体会議11時00分 - 12時55分、昼食13時00分 - 13時30分

分科会13時30分 - 14時20分、全体会議14時30分 - 15時30分）

場所：[全体会議] 九州大学(病院地区) コラボ・ステーション 視聴覚ホール(2階)

[分科会] 九州大学(病院地区) 総合研究棟 101,102,104,204,205

議題：

全体会議（11:00-12:55） コラボ・ステーション 視聴覚ホール

1)開会のごあいさつと当班研究について 田口智章

2)研究班構成員、グループリーダーと横断的研究分担者の紹介

3)5つの疾患別グループの進捗状況について

a)ヒルシュスプルング病類縁疾患（小児） 田口智章(10)

b)成人の慢性特発性偽性腸閉塞症 中島 淳(10)

c)先天性胆道閉鎖および新生児胆汁うっ滞症候群 仁尾正記、松井 陽(10)

d)乳幼児巨大肝血管腫 黒田達夫(10)

e)腹部リンパ管腫及び関連疾患 藤野明浩(10)

f)顕微鏡的大腸炎、原因不明小腸潰瘍（成人） 中島 淳(10)

4)疾患特異的iPS細胞による新規治療法の開発の可能性 中畑龍俊(10)

5)ガイドライン作成の経験 友政 剛、松藤 凡(10)

昼 食(13:00-13:30) コラボ・ステーション コミュニティラウンジ

分科会（13:30-14:20） 総合研究棟 101(c),102(a,b),104(d),204,205

各グループ別に今年度の活動計画について討論

a)b)研究分担の確認、病理、iPSはとりあえずこのグループに参加

c)活動計画、全国調査など

d)再調査の必要性、出生前診断例や胎児治療適応などの検討

e)再調査の必要性、出生前診断例や胎児治療適応などの検討

f)小児例に限定した症例数の調査：日比班との関連

全体会議（14:30-15:30） コラボ・ステーション 視聴覚ホール

各グループ代表に今年度の活動計画を説明

各グループ代表はコンピュータ持参でお願いします。当日PPに作成をお願いします。